

第6期（令和元年度）事業報告書

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

特定非営利活動法人わたりグリーンベルトプロジェクト

1. 活動のまとめ

令和元（平成31）年度は、町民参加を主とした「植樹祭」を春2回開催。秋以降の開催についても企画はしたものの、天候不良及び新型コロナウイルス感染拡大を受け、一旦延期した後、最終的には中止となった。郡内小学校の総合学習や企業向けボランティアツアー等でも植樹を行い、年間で盛土3.1haに10,529本の苗木を植栽した。これによって、協定面積14.1ha、計43,993本に及ぶ町有林新規盛土への5年間の植樹が完了したこととなる。しかし、これはあくまで海岸林再生活動の第一段階であり、今後は下草刈りや補植を中心とした保育管理を実施していかなければならない。

平成30年度までの植樹地11.0ha、および残存林4.5haについては、不定期の巡視に加え、町からの委託による下草刈り等の維持管理活動を行った。

「苗木の里親」制度については、例年同様、県内外におけるイベント等での協力者募集、及び生長した苗木の鉢替えや植栽活動を行った。また、同制度の今後の方向性について検討した結果、制度継続を基本としつつも、これからは鉢替えや植栽時期に関する直接の案内は行わないこととした。地域による気候条件の違いや団体事業の多様化が主な理由として挙げられるが、ここ数年、それによって里親登録者への適切な案内ができていなかったという背景もある。現在把握できている登録者に対しては、年度末、お詫びとともにサポート体制変更の案内を送付したところである。

小学校の総合学習では、例年通り、亘理町2校、山元町2校を対象として、出前授業や屋外での植樹体験活動等を実施した。海岸林の再生活動を通して、地元“わたり”への愛着を育みながら、子どもたちが自然環境や生命のつながりへの理解をより深められるような、当団体ならではの授業を今後も展開していく予定。

第8回目となった「熱気球フェスティバル」は、前年度不採択となった『子どもゆめ基金』の助成を受け開催することができた。2日目は天候に恵まれなかったものの、会場には両日とも子どもたちの笑顔と歓声があふれ、主催者側としても、来場者満足度の高さが強く感じられた。

「おらほの畑」は、活動4年目。畑仕事やお茶っこ、地元小学生との交流等といった、参加者にとって有意義な時間と場を提供することができた。各曜日のメンバーと話をするたび、「毎週ここに来るのが本当に楽しみ」という言葉を何度も耳にした。

遊休農地を活用した「落花生事業」も大きな広がりを見せた。固定客も複数付き、「とにかく味が良い」との評判をいただいている。収穫・販売を通して得られたつながりを大切にしたい。

令和2年度以降は、海岸林再生という壮大な目標の達成に向け、改めて当団体が今やるべきことを明確にし、より多くの方々から継続的に応援していただけるような事業展開を目指していきたい。

2. 運営に関する事項

1) 総会の開催 令和元年5月26日

2) 理事会の開催

- 第1回：令和元年5月25日 議題：各活動の報告と進め方、総会準備
第2回：令和元年7月27日 議題：各活動の報告と進め方
第3回：令和元年10月5日 議題：各活動の報告と進め方、熱気球フェスティバル準備
第4回：令和元年11月30日 議題：各活動の報告と進め方
第5回：令和2年1月25日 議題：各活動の報告と進め方
第6回：令和2年3月15日 議題：各活動の報告と進め方

3) 外部研修等

- ・落花生事業のための研修（千葉市経済農政局農政部農政センター課のご協力を得て）
11月26-27日 富田さとにわ耕園「落花生煎り加工の委託・研修」 3名
- ・森づくり事業のための研修
3月8日 キャタピラー教習所「刈払機安全衛生教育」 2名
3月13日 (公社)国土緑化推進機構
「海岸防災林再生ワークショップ2020」代替視察 4名
- ・ワークショップ参加
7月18日 (一社)WIT「クロスボーダー・ラーニングジャーニー」 1名
8月3日 仙台市「これからの震災メモリアルを語る」 1名
8月29-30日 公益社団法人国土緑化推進機構
「森林環境教育・森林ESD」「緑の少年団」推進全国セミナー 1名
8月～10月 復興庁「地域内外の多様な人と資源を活かす場づくり研修」 1名
10月～2月 宮城県「みやぎ地域づくり人材養成講座」 1名

4) 県助成金

- 10月29日 宮城県「みやぎ地域復興支援助成金」第1回中間検査 3名
1月24日 宮城県「みやぎ地域復興支援助成金」第2回中間検査 3名

5) 講演

- 6月18日 東北学院大学教養学部地域構想学科
同学科2学年対象「地域構想論」ゲストティーチャー 2名

6) 出展、広報活動

- 4月6日 川崎市緑化センター「春の緑化フェア」 4名
8月3-4日 (特非)熱気球運営機構「空を見上げて in 東京」 5名
9月1日 (一社)スタンドアップ亘理「荒浜ロック2019」 6名
1月31日 花と緑のココロ博実行委員会、河北新報社 他
～2月2日 「花と緑のココロ博2020」 5名

11月8日	宮城県「第2回宮城つながる森業交流祭」(パネル展示のみ)	-
11月9日	川崎市緑化センター「秋の緑化フェア」	2名
通年(月1回)	FMあおぞら「グリーンベルトステーション」	1名

7) メディア

6月1日	TBS「報道特集」(HUAWEI 関連)
9月19日	ミヤギテレビ「ミヤギ news every. : 暮らしのミカタ」
10月1日	ミヤギテレビ「OH! バンデス : 伝言板デス」
10月4日	Date FM「Morning Brush」
11月24日	河北新報「今できることプロジェクト」
11月24日	河北新報「持論時論」(投稿 鈴木仁)
3月17日	チバテレビ他「カワウソちいたん☆が行く ホントの日本」
3月28-29日	チバテレビ他「私たちの震災10年目」

8) 運営体制

<職員> 常勤3名、非常勤13名(内8名 苗木育成従事)

<ボランティア> 1,749名(延べ人数)

①森づくり	: みんなでこせっぺ!おらほの森「植樹祭」	194名
	町内外の有志による植樹	207名
②普及啓発	: 企業ボランティア等(植樹作業中心)	403名
③担い手育成	: 小学校での総合学習(数字は植樹体験参加人数)	73名
④仲間づくり	: 地域菜園「おらほの畑」	811名
⑤地域づくり	: 熱気球フェスティバル「空を見上げて in 亙理」	61名

3. 特定非営利活動に係る事業 (従業者数及び参加者数については、延べ人数を記載)

事業名	事業内容	期間	実施場所	従業者数 (スタッフ数)	受益対象範囲 及び参加人数
①森づくり	(1) 海岸林再生 a. 新規盛土植樹 3.1ha/10,529本 クロマツ 2,557本 アカマツ 2,136本 広葉樹 5,836本 <植樹祭の実施> 4月14日 500本(44名) 5月19日 2,100本(150名) 6月16日 悪天候の為中止 10月20日 悪天候の為3月に延期 3月15日 新型コロナウイルス 感染拡大を受け中止	通年	町有林	167名	877名

	<p>b. ボランティアツアー植樹 1.7ha/5,219本</p> <p>c. 小学校の総合学習による植樹 0.1ha/360本</p> <p>d. 苗木育成（海岸林植栽用）</p> <p>e. 残存海岸林の維持管理事業 下草刈り、外来種駆除</p> <p>f. 植樹地巡視</p> <p>(2) 沿岸部緑化</p> <p>a. 防災公園緑化事業 ※亘理町と協議中</p> <p>b. 苗木育成（イグネ植栽用） 樹種：クロマツ、ヤブツバキ</p> <p>c. 遊休農地活用 ＜農作物栽培＞ じゃが芋、里芋、白菜 他多数 売上：計219千円 ＜落花生事業＞ 出荷：（生）582kg（煎）160kg 売上：（生）（煎）計1,194千円</p>	<p>通年</p> <p>9-11月</p> <p>通年</p> <p>12-3月</p> <p>通年</p> <p>未着手</p> <p>通年</p> <p>通年</p>	<p>町有林</p> <p>町有林</p> <p>事務所</p> <p>町有林 +県有林</p> <p>町有林</p> <p>未着手</p> <p>事務所</p> <p>吉田</p>	<p>112名</p> <p>11名</p> <p>約200名</p> <p>60名</p> <p>48名</p> <p></p> <p>約200名</p> <p>多数 （実数16）</p>	<p>403名</p> <p>73名</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>多数 （ツアーリズム、 収穫体験含む）</p>
②普及啓発	<p><u>ボランティアツアーリズム</u> 海岸林再生活動（植樹等） 被災地視察（主に山元町） 研修・ワークショップ等</p>	通年	亘理町 +山元町	112名	403名 （参加 13社） （実施 15回）
③担い手育成	<p><u>小学校での総合学習</u> 対象：亘理町2校、山元町2校 内容：出前授業、種まき、 鉢替え、植樹体験</p>	通年	各学校 事務所 町有林	34名	荒浜小 93名 長瀬小 116名 山一小 22名 山二小 48名
④仲間づくり	<p><u>地域菜園「おらほの畑」</u> 対象：被災高齢者 26名（実数） 内容：農作業、苗木づくり、 総合学習活動補助等</p>	通年	事務所 その他	314名	811名 （稼働 157日）
⑤地域づくり	<p><u>熱気球フェスティバル</u> 内容：和紙ミニ熱気球製作 バルーンイリュージョン 熱気球教室 ※体験搭乗は悪天候のため中止</p>	10/5- 10/6	長瀬小 体育館 跡地グラ ウンド	61名	約600名参加 運営協力： 熱気球運営機構 25名、クラブツ ーリズム15名